



What IS IT?

ISIT: Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

INDEX

今号の主な内容

- 福岡市AI人材育成支援事業
令和3年度キックオフイベント開催報告と研修内容 P1
- FITCO総会開催報告 & Slackコミュニティ始動 P2
- 福岡市中小企業等デジタルトランスフォーメーション促進モデル事業 P3
- エンジニアフレンドリーシティ福岡「賛同企業等」登録制度 P3
- 小中学生向け夏休み親子オンライン体験実験 P4
- 山田研究所長がCERI寄付講座で講演(オンライン) P4
- 山田研究所長が「九大学研都市観察・分析装置民間開放セミナー」にて講演 P5
- 第16回有機光エレクトロニクス産業化研究会開催報告 P5
- FiaS Monthly Caféオンラインで定期開催中 P5
- 荒牧副所長が福岡市とヘルシンキ市をつなぐ「スマートシティ」をテーマにしたオンラインイベントで基調講演 P6
- 福岡型ワーケーション推進事業 (パートナーとしてビジネスマッチングを提供します) P6
- SRP Open Innovation Lab オンライン配信スタジオ好評運営中 P6
- よろず相談「分析NEXT」活動紹介 P7
- 新スタッフ紹介 P8
- 新規賛助会員のご紹介 P8

福岡市AI人材育成支援事業 令和3年度キックオフイベント開催報告と研修内容

令和3年度

キックオフイベント ふくおかAI・DXビジネス創成セミナー

公益財団法人九州先端科学技術研究所 (ISIT) は、令和3年度「ふくおかAI・DXスクール」の開講に先立ち、7月29日に「ふくおかAI・DXビジネス創成セミナー」をオンラインにて開催いたしました。

本セミナーには、136名のお申し込みがあり、当日は100名以上の参加をいただきました。

本セミナーでは、AI・DXの先駆者としてご活躍の浦本直彦氏(株式会社三菱ケミカルホールディングス 執行役員CDO、前人工知能学会会長)による基調講演にて、製造業におけるDXの課題、新しい価値を創出する仕掛け、そして今後の方向性についてお示しいただきました。

二つ目の講演として、トルヴェ・アントワン氏(株式会社チームAIBOD 取締役CTO)に、近年DX化が進むAIビジネスについて、ご講演いただき、AIを活用したビジネスの具体例を紹介していただきました。

また、自治体が取り組むAI育成事業として、ISITが取り組む「ふくおかAI・DXスクール」の各研修コース内容を紹介し、さらに公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)様からは、システム開発技術カレッジにおける技術者育成の取り組みについてご紹介いただきました。



浦本直彦氏



トルヴェ・アントワン氏

ふくおかAI・DXスクール

ISITでは、AI技術を用いた新たなサービスを生み出すAIエンジニアの育成を支援するために、令和3年度「ふくおかAI・DXスクール」を8月より随時開講しております。福岡市内に居住もしくは、働いている方は半額で受講できる講座となっております。本講座は昨年度から、福岡市のAI人材育成支援事業として実施しており、今年度はエンジニア向けの研修に加えて、企画部門向けの研修として、2日間のオンラインワークショップとe-Learningを組み合わせた「AI・DXビジネス推進コース」を追加で開催しております。



スクール詳細



福岡市IoTコンソーシアム（FITCO）は前年度の活動実績、今後の活動方針・計画を報告するため、7月7日にFITCO総会を開催いたしました。

基調講演として、FITCO代表の村上和彰氏（九州大学名誉教授、株式会社DXパートナーズ シニアパートナー&代表取締役）に、『二階建てのDX ～自社のDXを推進しながら、顧客企業のDXを支援する!』と題し、DXの方法論と実践プロセスについてご講演いただきました。

次に、ISIT高野茂（九州大学持続的共進化地域創成拠点 客員准教授）が『ICTを活用したまちの安心安全と賑わいの両立 ～九大COIの取り組みの紹介～』と題し、JR九大学研都市駅前や川端通商店街でのAI技術を搭載する防犯カメラの社会実証の報告と、実用化に向けた技術と制度の課題について示しました。

また事務局よりマッチング支援等の活動状況及び、今年度の活動方針・計画を報告し、ワーキンググループの取り組みについては、「事業共創ものづくりWG」「IoT Business Transformation WG」「QDX」の各リーダーより、ご報告いただきました。

福岡市からは長岡悠子氏（経済観光文化局創業・立地推進部新産業振興課長）より『エンジニアフレンドリーシティ福岡に関する取り組み』について、エンジニアやコミュニティの活動拠点であるエンジニアカフェや、新たに取り組み始めたIT企業とともに学生を育成するプログラムについてご報告いただきました。

最後に、アビスパ福岡より『新しいスポンサーシップの形、アビスパ福岡が取り組む地域のDX化』と題して、スポンサー企業と連携した新たな取組についてご講演いただきました。

FITCOでは新たに「FITCO Slack コミュニティ」の運営を開始しました。FITCO会員間のコミュニケーション促進を目的とした取り組みで、興味のあるチャンネルに参加いただくことで、自由なディスカッションや会員間の交流を行える仕組みになっています。FITCO会員企業の方はぜひご参加ください。



コミュニティ参加は
こちらから

FITCO総会の様子(オンライン実施)



FITCO代表 村上和彰氏



ISIT 高野茂（九州大学客員准教授）



オンライン配信の様子



オンライン配信の様子

ISIT は、福岡市とともに、市内中小企業等がデジタル技術を用いて経営基盤強化、ニューノーマルな社会に対応した事業再構築を進めるための補助事業である「福岡市中小企業等デジタルトランスフォーメーション促進モデル事業」を実施しています。

コロナ禍において中小企業の経営基盤強化及びWithコロナ/ Afterコロナの新たな日常に対応した事業再構築を早急に進めていくためには、デジタル技術を活用した企業変革（DX）が重要になります。

本事業はDXのロールモデルとなるような中小企業の取り組みを支援し、広く広報する事で、福岡市内中小企業のDX化を促進する事を目的としています。モデルケースとなりうる取り組みの公募を行い、令和3年8月に採択事業者を決定しました。

エネルギー会社、食品製造・販売、行政書士、商社、アパレル、医療機器の卸売・機器開発、外食産業、人材サービスという多種多様な11社のDX化モデルケースが採択されました。

ISITは採択事業者に対し、DX化の取り組みを円滑に進めるために進捗管理支援や技術的問題の解決支援を行います。

それぞれの採択事業者がDX化に取り組み、令和3年11月に中間報告を行い、令和4年2月の最終報告において、具体的な実施内容や課題及び取り組みの効果について発表を行う予定です。



福岡市ホームページより

エンジニアフレンドリーシティ福岡 「賛同企業等」登録制度



令和3年度

福岡市が取り組む「エンジニアフレンドリーシティ福岡」（以下、「EFC」）では「エンジニアが集まる、活躍する、成長する街、福岡。」をスローガンに、エンジニアと福岡市が協力し、エンジニアがここで働きたいと思うようなまちづくりに取り組んでいます。

福岡のエンジニアフレンドリーな企業等を応援します

エンジニアの皆さんが自己の能力を高め活躍していくにあたり、自分が働いている職場での活動のほか、職場外でも様々な場所や機会を通して最新情報のキャッチアップ等の自己研鑽をされている事と思います。そういったエンジニアの活動を活発に行える「エンジニアフレンドリーな環境」をより一層推進していくため、「賛同企業等」登録制度を実施しています。

この取り組みは、エンジニアやエンジニアを目指す方にとって、働きやすい環境づくりの構築や、成長・交流の促進につながる取り組みを行っている企業・団体・学校等に「賛同企業等」としてご登録いただくもので、現在約90の企業・団体様にご登録いただいています（令和3年9月末時点）。

エンジニアフレンドリーな取り組みを行っている福岡の企業等を広く知ってもらうこと、またその良い取り組みを多くの企業に取り入れてもらい、福岡にエンジニアフレンドリーな環境を広げていくことが本制度の目的です。事務局では、登録いただいた企業等の皆様をWebサイトにてエンジニアフレンドリーな企業等としてご紹介し、EFCのイベント等でもPRをさせていただきます。また、賛同企業へのインタビュー記事をWebサイトで公開するほか、賛同企業と共同でのイベント開催も行っており、今後も福岡のエンジニアフレンドリーな企業を福岡内外へPRする活動を行っていきます。

「賛同企業等」の登録はこちらから
◎登録に費用は不要です。



ISITは、九州大学と福岡市産学連携交流センター（FiaS）指定管理者と共同で、小中学生向け夏休み体験実験を開催しました。コロナ禍の中、本年度もオンラインでの開催とし、児童20名の各ご家庭へ、FiaS分析機器室からライブ配信を行いました。

第1部「ぷよぷよゲルの世界」では、あらかじめ参加者に送付した実験キットを使用し、九州大学・神谷典穂教授と研究室の学生によるオンラインレクチャーのもと、海藻の主成分から様々な形状のゲル（ゼリー状の物質）を作る実験を行いました。

ゲルの着色に、参加者毎に好きな色の絵の具を用いてもらい、個性的なものも含めて、とてもカラフルなゲルができあがりました。

続く、第2部「電子顕微鏡ライブ！」では、ISIT吉原大輔イノベーション・アーキテクトより、光学顕微鏡や電子顕微鏡を使った様々な身近なサンプルを観察する様子をライブ配信しました。

「これは何の拡大写真でしょうか？」といったクイズも交えながら、参加者は、植物（ハーブ）、昆虫の眼や不織布マスクなどが顕微鏡で拡大するとどう見えるのか考え、楽しげな様子が画面越しに伝わってきました。

最後に設けた質問コーナーでは「今回作ったゲルは電子顕微鏡でどう見えるのか？」「電子顕微鏡で見えないものはあるのか？」など、たくさん質問をいただき、大いに盛り上がりました。



ご家庭での実験の様子



ゲル作り実験配信の様子



電子顕微鏡ライブ配信の様子

山田研究所長がCERI 寄付講座で講演(オンライン)

令和3年5月15日

令和3年5月15日より、一般財団法人化学物質評価研究機構（CERI）の寄付講座「先端分子材料化学～設計、構造・物性、機能からデバイスまで～」が開催されました。同講座の全14講の第1講として、山田淳研究所長が「プラズモンナノ材料」というタイトルで講演いたしました。

同講座は、例年、FiaSで開催されておりましたが、コロナ禍の中、昨年度につづき本年度もオンラインでの開催となりました。

参加者の皆様に、ISITマテリアルズ・オープン・ラボ ナノ材料グループで取り扱うプラズモンナノ材料について、広く知って頂く機会とすることができました。

山田研究所長が「九大学研都市 観察・分析装置民間開放セミナー」にて講演

令和3年3月24日

九大学研都市に集積している分析機器類の民間活用を進める目的で、令和3年3月24日に開催された観察・分析装置民間開放セミナーにおいて、山田淳研究所長が『よろず相談「分析NEXT」：元岡地区の分析リソースを活用した開発支援』というタイトルで、よろず相談「分析NEXT」事業を始めた経緯、また、これまでの相談実績、相談事例や相談の案内について講演いたしました。

当日は、モノづくり企業をはじめとして、多くの企業からの参加があり、セミナー終了後の名刺交換会では実際に相談したいとの声も多数寄せられました。実際に、このセミナーがきっかけとなって令和3年度のよろず相談にお越しになられた企業も複数あり、現在、技術相談、そして製品の分析機器での分析・解析作業を通じた製品開発を相談者に寄り添う形で進めております。



第16回有機光エレクトロニクス産業化研究会開催報告

令和3年3月5日

ISITは、福岡県、福岡市、ふくおかISTとともに、地場産業の有機EL産業への参入を促すため、有機光エレクトロニクス産業化研究会を開催しています。今回は、「有機と無機デバイスの融合に向けて」というテーマで、新型コロナ感染予防の観点から、オンラインで開催しました。本研究会では、TOYO Tech LLC 井上勝氏から、「変位電流測定による有機-無機材料評価」、産総研九州センター大園満氏から、「九州におけるミナマルファブの取り組み」という題目で、評価技術や無機半導体との融合について講演がありました。

当日は、97名の参加があり、有機・無機材料の長所を活かす新しい融合デバイスに対する関心の高さがうかがえました。

FiaS Monthly Café オンラインで定期開催中

令和3年度

FiaSでは入居者の相互交流や、市民、地場企業、大学関係者などの出会いを促進することを目的として、福岡市、ISIT、九州大学、公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）、FiaS指定管理者（西鉄ビルマネジメント株式会社）と共同で、公開形式の交流会「FiaS Monthly Café」を定期開催しております。令和3年度は、これまでに福岡市、九州大学、株式会社理研鼎業より、以下の話題を提供いただきました。今後も多くの方々に参加いただきたいと思います。

最近のテーマ・話題提供者（Zoomによるオンライン開催）

第17回 令和3年4月23日 迎 幸治氏（福岡市）「元岡地区研究開発次世代拠点形成事業について」

第18回 令和3年5月28日 松村 晶氏（九州大学）「エネルギー消費とは？（整理ノート）」

第19回 令和3年6月25日 藤川 茂紀氏（九州大学）「“ビヨンド・ゼロ社会”実現に向けた新しいテクノロジー」

第20回 令和3年7月16日 半田 敬信氏（株式会社理研鼎業）「理化学研究所の研究成果と国民への貢献」

荒牧副所長が福岡市とヘルシンキ市をつなぐ「スマートシティ」を テーマにしたオンラインイベントで基調講演

令和3年6月29日

「福岡地域戦略推進協議会（FDC）」と、ヘルシンキ都市圏における産学官連携組織である「ヘルシンキビジネスハブ（HBH）」は、日本・フィンランド両国共通の関心事である「スマートシティ・スマートエネルギー」をテーマにしたオンラインイベントを、令和3年6月29日に開催しました。

本イベントの基調講演として、荒牧敬次副所長が「福岡市のスマートシティおよびスマートエネルギーの取り組みについて」と題して登壇しました。本講演の中で、ISITの事業内容およびスマートシティへの取り組み、福岡市の水素リーダー都市プロジェクトの取り組み、そして九州大学のカーボンニュートラルなどの取り組みについて紹介し、福岡市そして福岡都市圏のスマートシティに向けての、住民目線に添った産学官民一体となった活動の方向性を示しました。

また、本イベントでは他にも、ヘルシンキのスマートシティ・スマートエネルギーの取り組みの紹介、ヘルシンキのスタートアップ事例紹介などの講演が行われました。



福岡型ワーケーション推進事業 (パートナーとしてビジネスマッチングを提供します)

令和3年8月～

福岡市と公益財団法人福岡観光コンベンションビューローでは、ビジネス環境の良さや都市機能と自然が近接したコンパクトシティの特徴を活かした「福岡型ワーケーション推進事業」を推進しています。

ISITは本事業の趣旨に賛同し、ビジネスマッチング提供パートナーとして、これまでの産学官連携の取り組みの中で培ったノウハウを活用し、ワーケーション利用者向けのマッチング機会の提供を行います。

福岡市ワーケーション専用ポータルサイトW@F(ワフ) ～福岡市内におけるワーケーションの魅力を紹介する情報発信サイト～

市内で提供可能なワーク・バケーションに係る豊富なコンテンツの紹介、ワーケーションに関連する様々な相談への対応や実施に向けたサポート、ワーケーションの価値を高めるビジネスマッチング、ビジネスイベントの提供等、ワーケーションの価値を高める様々な情報が掲載されています。



SRP Open Innovation Lab (SOIL) オンライン配信スタジオ 好評運営中

令和3年度

SRP Open Innovation Lab (SOIL) は、株式会社福岡ソフトリサーチパークとISITが運営する施設で、福岡SRPセンタービル1階に平成30年3月に開設しました。開設時より、ICT技術の体験や、人材育成・交流メニューを通して、様々な角度から事業者の皆様のサポートを行ってまいりました。

令和2年8月には、SOILはNEW NORMAL時代に対応した、リモート配信スタジオ（SOILスタジオ）とハイブリッドイベントスペース（SOILイベントスペース）としてリニューアルしました。SOILスタジオはオンラインセミナーが実施可能なリモート配信スタジオで、各種機材を揃えており、動画の収録、編集を行う事も可能です。また、SOILイベントスペースはオンライン・オフラインのハイブリッドイベントが開催可能なスペースとなっており、企業・各種団体さまにご利用頂いています。SOIL開館の時間帯は、設置機材の利用も含め、無料でご利用可能です。

また、テレワークに関する相談や、AI・IoT・ビッグデータなどの技術相談も受け付けています。

ぜひ、SOILをご利用ください。



SOIL詳細



ハイブリッドイベント開催の様子

ISITでは、福岡市、九州大学、OPACKの四者で連携し、製品・材料等の分析・解析につき課題解決を支援する相談窓口を開設しています。

研究や事業化経験豊富な幅広い分野の研究者やエンジニアが、FiaSや九州大学に多種ある分析機器も活用しながら、科学の視点から幅広く助言し支援を行います。相談は秘密厳守ですが、実際の相談のうち相談者の許可を得て、技術課題の解決にあたり共通の要素の多い例を紹介します。分析NEXTホームページの相談事例もご覧ください。



分析NEXT ホームページ

事例1 揮発性有機化合物の建材からの除去効果確認

建材に含まれるホルムアルデヒドなどの揮発性有機化合物(VOC)の除去効果がある物質についての相談があり、ISITとの共同研究として実施しました。効果のある物質を推定し、実験室レベルでの除去効果の確認を行いました。現在、本件は大学との共同研究へと発展しています。



事例1：ガス検知管によるホルムアルデヒド濃度測定の様子

事例2 開発製品の使用前後での挙動変化の原因解析

スタートアップ企業の新規開発製品が使用前後で挙動が変化しており、その原因を調べたいという相談を受け、電子顕微鏡等を活用した分析・解析を実施しました。本件において、WEB会議システムを活用しての分析配信を行いました。相談者が観察の状況をリアルタイムで見ることができる点が好評でした。



事例2：WEB 会議システムを活用したリアルタイム分析配信の様子

お困りごとは、よろず相談「分析NEXT」にご相談ください。

現在、よろず相談「分析NEXT」では、コロナ下の状況に合わせ、以下の形式にて技術課題相談を受け付けています。

- 1 技術課題に関するよろず相談（メール、電話、WEB会議システムの積極活用）
- 2 分析機器を用いた分析・解析（分析試料は基本的に郵送で受付）FiaSの分析装置（TEM、SEM、FIB-SEM、NMR、MALDI-TOF-MS）、九州大学の分析装置及びISITの分析装置を使った分析

なお、コロナ下での新たな対応として、分析の様子を相談者に対してWEB会議システムでリアルタイム配信する試みも行っております。

相談窓口（連絡先）Eメール：bunseki@next-soudan.com 電話：092-805-3810

新スタッフ紹介

はじめまして。4月1日よりISITオープンイノベーション・ラボに着任しました野中広文と申します。大学卒業後IT会社にて企業向けコンピュータのエンジニアとして多くの業種のプロジェクトに関わって顧客の様々な問題解決に取り組んできました。入所後はオープンデータを扱うBODIKチームに所属し活動しています。VRとAIに興味があり、現実と仮想空間の融合に取り組んでみたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



5月1日からISITオープンイノベーション・ラボに着任しております井田一郎と申します。大学の修士課程を出てから、製造業2社、研究機関4か所と渡り歩き、今回、福岡に新たな可能性を見出し、横浜から妻とともに移住してまいりました。専門は無線通信、アンテナ、業務改善です。OILではエンジニアフレンドリーシティ福岡事務局や産学連携に取り組んでいます。当面の目標は色々などん屋さんに行くことです。趣味はランニングと語学の学習です。どうぞよろしくお願いいたします。



はじめまして。7月1日よりISITオープンイノベーション・ラボに着任いたしました高野茂と申します。これまで九州大学でICTを活用した見守りサービスの社会実装を目指し、特に、公共空間におけるAIカメラの活用に関する研究活動を行ってきました。今後は、ISITの一員として、地場企業の発展および市民の皆様の安心・安全に資する活動を実施する所存ですので、引き続き、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



賛助会員《法人・個人》のご紹介

新規賛助会員ご紹介

■株式会社虎変堂 様

農作物の収穫～配送、食品の加工・調理～食卓に至る全ての場面での衛生対策と鮮度保持製品の提供

賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

1

ISITの技術コンサルティング料金を割引

会員特典

2

コミュニティスペースや会議室で
設備・備品が利用可能

会員特典

3

ISITホームページで紹介（リンク等）

会員特典

4

活動報告書、活動レポートの送付 等

詳細はこちらまで！ ISIT総務部

TEL:092-852-3450・FAX:092-852-3455

E-mail:isit-soumu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。
メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。
<https://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

発 行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22

〈福岡SRPセンタービル5階〉

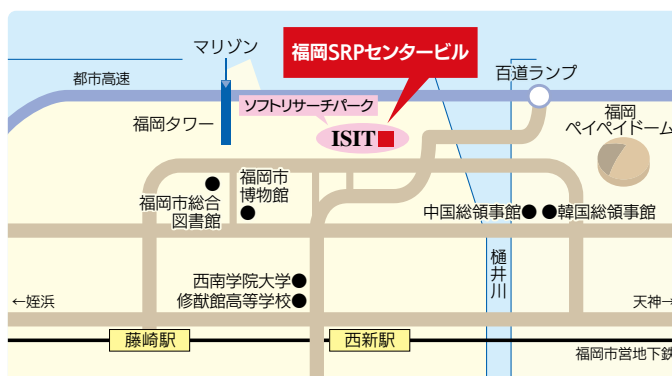
Fukuoka SRP Center Bldg 5F
2-1-22, Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001

TEL 092-852-3450 FAX 092-852-3455

URL: <https://www.isit.or.jp>

編集: ISIT総務部

制作: 株式会社西日本高速印刷



賛助会員入会のご案内

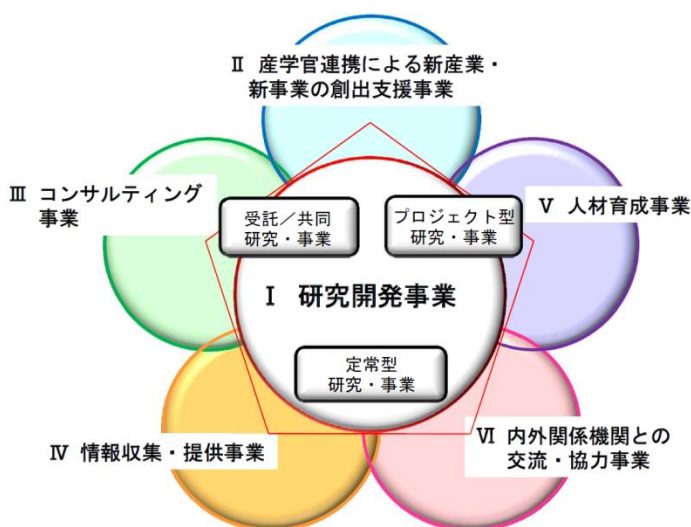
当財団の事業目的に賛同して頂ける方
(企業/団体/個人等)の賛助会員入会を募集中

主な特典

1. ISIT主催のセミナー・交流会を優先的にご案内
2. コンサルティング(技術相談等)の初期相談が無料
3. ホームページで会員紹介(リンク等)
4. その他活動報告書や活動レポートの送付



当財団は、システム情報技術、ナノテクノロジーなどの先端科学技術分野において、九州地域における共創の場を提供し、社会実装や社会実証、産業界のニーズと大学等研究機関等のシーズをつなぐ開発研究を産学官連携の下で推進するなど、産業の振興と経済社会の発展に資する様々な活動・事業(公益目的事業)を行っています。



産学官連携プロジェクト (H30.4現在)

- 福岡市IoTコンソーシアム (FITCO)
- ビッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州 (BODIK事業)
- SRPオープンイノベーションラボ
- 分析・解析よろず相談事業 (分析NEXT)
- ふくおか産学共創コンソーシアム

など

詳細: <https://www.isit.or.jp/project/>



【入会申込・お問合せ窓口】

当研究所 総務部 Tel : 092-852-3450 Fax : 092-852-3455

E-mail : isit-soumu@isit.or.jp

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル5階

贊助會員入会申込書

公益財団法人九州先端科学技術研究所 宛

貴研究所の事業目的に賛同し、賛助会員として入会を申し込みます。

年 月 日

ふりがな			
団体名 又は氏名	※法人会員の場合は団体名、個人会員の場合は氏名を正式名称でご記入ください。当研究所のWEBに掲載させていただきます。		
代表者氏名			印
住 所	〒		
電話番号	※法人会員の場合は代表番号をご記入ください。	FAX番号	
入会理由 ※複数選択可	1. 研究開発内容に関心あり 2. 共同研究/共同提案等の実施等 3. コンサルティング(技術相談等)の活用 4. セミナー・交流会等の活用 5. 情報収集等 6. その他()		
申込口数	※番号に○をつけて、申込み口数をご記入ください。 1. 法人会員 □ (6万円／口) 2. 個人会員 □ (1万円／口)		
メールアドレス	※各種セミナーや講習会などのご案内や賛助会員様への連絡等をお送りする宛先になりますので、必ずご記入ください。		
WebページURL	※当研究所のWEBでのリンク設定を希望されない場合は、□にチェックを入れてください □当研究所の賛助会員ページに上記URLをリンクすることに同意しません。		
※団体(法人会員)での申込みの際は以下もご記入ください。			
担当部署名			
担当者名		電話番号	
備 考			